

第1学年〇組 英語科学習指導案

平成30年11月28日(木) 第5校時
場 所 第1学年〇組
授業者 教 諭 佐野 大輔
ALT Zeprah Basilio

1 単元名 Sunshine English Course 1 POWER-UP Speaking 3 依頼する・許可を求める

2 単元について

(1) 単元観

既習の Program8 では可能を表す **can** の用法について学習している。本単元では助動詞 **can** を用いての依頼、許可を表す英語表現を学習する。中学校学習指導要領解説(外国語編)第2章の外国語科の目標及び内容によれば、本時で学習する依頼や許可などの表現はそれぞれ「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」という言語の働きに整理される。言語の働きを明確にし、より日常の授業において実質的な言語の使用場面を設定することで、2つの言語材料を用いた対話の内容を理解し、運用できるようにしたい。また、対話を読むことや、対話の中に出てきた表現を書き留めさせることで、話すことだけではなく、4技能5領域の総合的な力の育成を図る。

(2) 生徒観

(省略)

(3) 指導観

can が「能力」「可能」「依頼」「許可」のどの用法になるかは文脈・場面によって決まる。本時の授業では、より実質的な言語の使用場面を設定するために、ピザの注文をする客と店員との対話を取り扱う。生徒自身が **can** の用法の違いに気付くことができるように、**can** を用いた対話文の一部を IC レコーダーを活用した聞き取りによって習得させる。また、より主体的・実践的な活動が行えるように、ペアワークや4人組による話し合いなどの学習形態の工夫を取り入れる。

3 学校研究主題との関連

本校の学校研究主題は「自らの能力や適性を踏まえ、将来の生き方を考えた進路選択ができる生徒の育成」である。本研究主題のもと、①基礎学力の保証、②系統的な進路指導、③異校種間連携の3つを大きな柱とし研究を進めている。自分自身の能力や適性について分析・把握をし、将来の自分の姿をイメージしながら、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択して進路選択できる力を養う。

本単元では「人間関係形成・社会形成能力」の伸長を図るための活動を取り入れる。本時においては、グループごとに英文の聞き取りによって得られた情報を共有したり、ペア活動でピザの注文のロールプレイを行うなどしたりして、生徒同士のコミュニケーション能力の醸成を図る。

4 「学力向上プラン」との関連

(1) クラスルームイングリッシュを活用し、教室内の英語環境を整える。

- (2) ワークシートを工夫・活用することで、総合的な4技能5領域の育成を図る。
- (3) ICTの活用を中心に、ユニバーサルデザインの視点を生かしたわかりやすい授業を行う。
- (4) 活動に応じた人数でのグループ活動を行うなど、生徒の言語活動の形態を工夫する。

5 単元の見目標

- (1) Can you ～ ? / Can I ～ ? を用いて自らの考えや意図を相手に伝える。
- (2) 助動詞 can の依頼や許可を表す言語の働きについて理解する。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
【言語活動への取組】 「話すこと」の言語活動に積極的 に取り組んでいる。	【正確な発話】 話そうとすることを聞き手に正確 に伝えることができる。	【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく内容を 聞き取ることができる。	【言語についての知識】 語句や文、文法などに関する知識 を身に付けている。

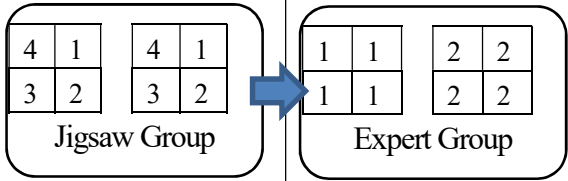
7 単元の指導と評価の計画 (2時間)

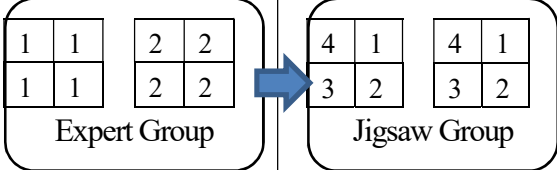
時間	○ねらい ・学習活動	単元 の評価規準	評価方法
第1時 (本時)	○ Can you ～ ? / Can I ～ ? を用いて自らの考えや意図を相手に伝える。 ・ 英文を聞き、ディクテーション活動を行う。 ・ 単語や連語等の意味や発音を確認する。 ・ 本単元の言語材料を用いてロールプレイを行う。	ア	観察
	○ 助動詞 can の依頼や許可を表す言語の働きについて理解する。 ・ can の言語の働きについて確認する ・ 教室内で使われる表現を確認し、理解を深める。	エ	ワークシート
第2時	○ まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。 ・ 単語や連語等の意味や発音を確認する。 ・ 音読練習を行う。(リピート、ペア・リーディングなど) ・ 本単元の言語材料を用いてリテリングを行う。	ウ	観察
	○ 言語材料の用法を確認し、運用する。 ・ クラスルームイングリッシュを確認する。 ・ ペアワーク(教師側と生徒側に分かれてロールプレイ)を行う。 ・ 本単元の言語材料を用いて自己表現活動を行う。	イ	観察

8 本時の指導(1/2)

- (1) 本時のねらい
- ① Can you ～ ? や Can I ～ ? を用いて自らの考えや意図を相手に伝えることができる。
 - ② 助動詞 can の依頼や許可を表す言語の働きについて理解する。
- (2) 本時の評価規準
- ① 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
 - ② 語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。
- (3) 資料、教具等
- 大型モニタ、PC、デジタル教科書、ICレコーダー

(4) 本時の展開

過程	学習活動 《形態》	学 習 内 容		・指導上の留意点 評価との関連	資料・教材 ・教具等 ICT活用
		教諭の活動	A L T の活動		
導入 10分	1. Greeting ・あいさつをする。 ・質問に答える。	・英語であいさつをする。 <i>Good afternoon everyone.</i> ・チェックシートに曜日や日付を記入させる。	・英語であいさつをする <i>Good afternoon everyone.</i> ・簡単な問答を行う。 <i>What day is it today?</i> <i>What's the date today?</i> <i>How's the weather today?</i>	・規律あるあいさつを意識させる。 ・曜日や日付を正しい綴りで書くことができているか確認する。	
	2. Singing a song ・英語の歌を歌う。	・生徒と一緒に歌を歌う。 <i>Let's sing</i> <i>"Ob-La-Di Ob-La-Da"</i>	・生徒と一緒に歌を歌う。	・授業の雰囲気作りを意識して行う。	大型モニター
	3. Dictionary ・単語の意味を調べる。	・英単語を黒板に書き出し、教科書の巻末を使って辞書引きをさせる。 <i>Let's Check this word.</i>	・机間指導を行い、見つけられない生徒のサポートを行う。	・アルファベット順を意識させる。	教科書
	4. Small talk ・相手に質問する。 ・自分の考えを伝える。	・ペアで1分間英語を話す。 <i>Which do you like, Japanese food or Italian food?</i>	・ペアがいない生徒がいたら相手をする。	・体ごともしっかり向き合わせる。 ・使える表現を簡単に紹介する。	大型モニター
	5. Introduction ・単語の確認 ・教師によるモデルリーディング ・課題の提示	・PCを使って導入を行う。 <i>What's this?</i> <u>ピザを注文する場面のモデルリーディングを行う。</u> 英語でピザの注文をして can の使い方を覚えよう	・単語の発音を確認する。 <i>Repeat after me.</i>	・単語の発音と意味の確認を短時間で行う。 ・課題の提示に繋がるように意識して行う。	大型モニター
	6. Dictation ・英文の聞き取りを行う。	・エキスパートグループを作らせる。(4グループ) <i>Make "number groups".</i>  ・ICレコーダーを配り、グループごとに音声を聞き、英文を書き取らせる。	・机間指導を行い、生徒が書き取った英文が正しいかどうかを確認する。	・グループの移動は静かに速やかに行うように意識させる。 ・ディクテーション中はできるだけ話さず、聞き取りに集中させる。 ・どうしても聞き取りができない生徒のためにヒントカードを用意する。	ICレコーダー
	7. Fill in the blanks ・グループで協力	・ジグソーグループに戻す。		・グループの移動は静かに速やかに	ICレコーダー

展開 3 5 分	し、対話文を完成させる。	Make "groups of four".  Expert Group Jigsaw Group グループごとに話し合い、対話文を完成させるように指示する。		うように意識させる。 - ディクテーションによって得られた英文を口頭で班員に伝える。 - 活動の様子をレコーダーで録音させる。	
	8. Ordering Pizza ペアグループを作り、好きな食材を3つ選び、ピザの注文を行う。	- 生徒と一緒に英文を読む。 - 音読練習を行わせる。 Repeat after me. <u>ピザを注文する場面のロールプレイを行う。</u> - 生徒にピザ注文のロールプレイを行わせる。	- 音読練習を行わせる。 Repeat after me. - 生徒と一緒に英文を読む。 - 活動の様子を見守り、必要に応じてサポートを行う。	「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 注文のあと、相手に完成したピザを渡す。 ⇒感想を英語で伝える。	大型モニタ P C
	9. Grammar Check 2つの文の違いを考える。	2つの英文を黒板に書き出し、用法的違いに気付かせる。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。	近くの生徒同士で話し合わせ、用法の違いについて確認させる。	
	10. Making Polite Request 教室内で使われる表現について、英文を完成させる。	Can I order a pizza? Can you tell me your phone number? - 英文をノートに書かせる。 - Can you と Can I どちらが当てはまるかを考えさせる。 - 写真（イラスト）とともに解答の確認を行う。	机間指導を行いながら、正しい解答ができているかどうか確認する。	⇒ 板書計画 語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。	大型モニタ P C
終 末	11. Review 課題の振り返り、チェックシート記入	本時の課題の確認と個人の各自の振り返りを行わせる。	チェックシートへの記入を促す。	ワークシートの観点をもとに振り返りを行う。	大型モニタ P C
5 分	12. Greeting 次回の予定の確認	英語であいさつをする。 Goodbye everyone. See you tomorrow.	英語であいさつをする。 Goodbye everyone. See you.	規律あるあいさつを意識させる。	

9 板書計画

Today's Goal	英語でピザの注文をして can の使い方を覚えよう	Wednesday	November	twenty-eighth
Singing a song	Can I order a pizza?			
Dictionary	～してもいいですか（許可）			
Small Talk	Can you tell me your phone number?			
Communication	～してもらえますか（依頼）			

10 ICT活用計画

- (1) **Singing a song** : 英語の歌の歌詞を大型モニタに映し出し、歌いやすい環境を作る。
- (2) **Introduction** : 大型モニタに写真やイラストを映し出し、効果的な導入を図る。
- (3) **Dictation** : レコーダーを使用し、英語の聞き取り活動を行う。
- (4) **Making a Polite Request** : 教室内で使われる表現について大型モニタの画面で確認を行う。